

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4565868号
(P4565868)

(45) 発行日 平成22年10月20日 (2010.10.20)

(24) 登録日 平成22年8月13日 (2010.8.13)

(51) Int.Cl. F I
A 6 1 F 5/448 (2006.01) A 6 1 F 5/448
A 6 1 F 5/445 (2006.01) A 6 1 F 5/445

請求項の数 18 (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2004-84874 (P2004-84874)	(73) 特許権者	503248248
(22) 出願日	平成16年3月23日 (2004.3.23)		マーレン マニファクチュアリング ア
(65) 公開番号	特開2004-298624 (P2004-298624A)		ンド デヴェロップメント カンパニー
(43) 公開日	平成16年10月28日 (2004.10.28)		インコーポレイテッド
審査請求日	平成19年3月6日 (2007.3.6)		アメリカ合衆国 オハイオ州 44146
(31) 優先権主張番号	10/403,595		ベッドフォード リッチモンド ロード
(32) 優先日	平成15年3月31日 (2003.3.31)		5150
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100073450
			弁理士 松本 英俊
		(72) 発明者	ゲーリー エイチ フェントン
			アメリカ合衆国、オハイオ州 44146
			ベッドフォード リッチモンド ロード
			5150
		審査官	田中 玲子

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ストーマ開口部に適合するように伸縮が可能なオストミーパウチ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中央に開口部を有する凸状の中央本体部分と該本体部分を取り囲む環状のリムとを有する可撓性プラスチックディスクと、

第 1 及び第 2 の面を有し、該第 1 及び第 2 の面のそれぞれに感圧性の接着剤が施されていて、前記第 2 の面が前記プラスチックディスクの中央本体部分と環状のリムとに接着され、前記プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えた発泡体ディスクと、

接着性を有して内径及び外径がそれぞれ前記発泡体ディスクの内径及び外径とほぼ一致し、第 1 及び第 2 の面を有して該第 2 の面が前記発泡体ディスクの前記第 1 の面に接着された第 1 のスキンバリアディスクと、

接着性を有して前記第 1 のスキンバリアディスクの前記第 1 の面に接着され、前記プラスチックディスクの前記開口部の内径よりも小さい最小径を有する開口部を中央に有して、該開口部の直径が前記最小径から前記プラスチックディスクの開口部の内径にほぼ一致する最大径まで拡大され得る第 2 のスキンバリアディスクと、

を備えてなるオストミーパウチ用の取付用ディスク。

【請求項 2】

前記可撓性プラスチックディスクの外周に、径方向に相對し、かつ放射方向に突出した取付用環状部が設けられている請求項 1 に記載の取付用ディスク。

【請求項 3】

10

20

第 1 及び第 2 の面を有して該第 1 の面に接着剤が施された布状ディスクを備え、
前記布状ディスクは前記可撓性プラスチックディスクの外径よりも大きい外径を有し、
前記布状ディスクの前記第 2 の面は、前記プラスチックディスクの環状のリムに接着され、

前記布状ディスクの前記第 1 の面は前記発泡体ディスクに接着されている請求項 1 に記載の取付用ディスク。

【請求項 4】

前記取付用環状部は、実質上前記布状ディスクの直径を越えて延びることがないように設けられている請求項 3 に記載の取付用ディスク。

【請求項 5】

前記第 2 のスキンバリアディスクの第 1 の面を覆う剥離可能な保護フィルムを備えている請求項 1 に記載の取付用ディスク。

【請求項 6】

中央に開口部を有する凸状の中央本体部分と該本体部分を取り囲む環状のリムとを有する可撓性プラスチックディスクと、

第 1 及び第 2 の面を有して該第 1 の面に感圧性接着剤が施され、かつ前記可撓性プラスチックディスクの外径よりも大きい外径を有して前記第 2 の面が前記プラスチックディスクの環状のリムに接着されている布状ディスクと、

第 1 及び第 2 の面を有して前記第 1 及び第 2 の面のそれぞれに感圧性接着剤が施され、
前記第 2 の面が前記布状ディスクと前記プラスチックディスクの中央本体部分とに接着されてい、
前記プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えた発泡体ディスクと、

接着性を有して内径及び外径がそれぞれ前記発泡体ディスクの内径及び外径にほぼ一致し、第 1 及び第 2 の面を有して該第 2 の面が前記発泡体ディスクの第 1 の面に接着された第 1 のスキンバリアディスクと、

接着性を有して前記第 1 のスキンバリアディスクの前記第 1 の面に接着され、前記プラスチックディスクの前記開口部の内径よりも小さい最小径を有する開口部を中央に有して、
該開口部の直径が前記最小径から前記プラスチックディスクの開口部の内径にほぼ一致する最大径まで拡大され得る第 2 のスキンバリアディスクと、

を備えてなるオストミーパウチの取付用ディスク。

【請求項 7】

前記第 2 のスキンバリアディスクの前記第 1 の面を覆う剥離可能な保護フィルムと、前記布状ディスクの第 1 の面を覆う剥離可能な保護ペーパーとを備えている請求項 6 に記載の取付用ディスク。

【請求項 8】

前記可撓性プラスチックディスクの外周に、径方向に相対し放射方向に突出した取付用環状部が設けられ、前記取付用環状部は実質上前記布状ディスクの外径を越えて延びることないように設けられている請求項 7 に記載の取付用ディスク。

【請求項 9】

取付用ディスクとオストミーパウチとを備えたオストミー装置であって、

前記取付用ディスクは、中央に開口部を有する凸状の中央本体部分と該本体部分を取り囲む環状のリムとを有する可撓性プラスチックディスクを備え、

第 1 及び第 2 の面を有して該第 1 及び第 2 の面のそれぞれに感圧性接着剤が施され、かつ前記第 2 の面が前記プラスチックディスクの中央本体部分と環状のリムとに接着されてい、
前記プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えた発泡体ディスクと、

接着性を有して内径及び外径がそれぞれ前記発泡体ディスクの内径及び外径にほぼ一致し、第 1 及び第 2 の面を有して該第 2 の面が前記発泡体ディスクの第 1 の面に接着された第 1 のスキンバリアディスクと、

接着性を有して前記第 1 のスキンバリアディスクの前記第 1 の面に接着され、前記ブラ

10

20

30

40

50

スチックディスクの前記開口部の内径よりも小さい最小径を有する開口部を中央に有して、該開口部の直径が前記最小径から前記プラスチックディスクの開口部の内径にほぼ一致する最大径まで拡大され得る第2のスキンバリアディスクとを備え、

前記オストミーパウチは、それぞれの外周部でシールされた、身体に近い側に配置されるプラスチックフィルムシートと身体から遠い側に配置されるプラスチックフィルムシートとを備えていて、前記身体に近い側に配置されるプラスチックフィルムシートにストーマ受け入れ口が設けられ、

前記ストーマ受け入れ口は前記可撓性プラスチックディスクの環状のリムの内径とほぼ一致する内径を有し、

前記環状のリムは、前記ストーマ受け入れ口を取り囲む領域の周囲において前記身体に近い側に配置されるプラスチックフィルムシートにシールされているオストミー装置。

【請求項10】

前記可撓性プラスチックディスクの外周に、径方向に相対し放射方向に突出した取付用環状部を備えている請求項9に記載の取付用ディスク。

【請求項11】

第1及び第2の面を有して、該第1の面に接着剤が施された布状ディスクを備え、
前記布状ディスクは前記可撓性プラスチックディスクの外径よりも大きい外径を有し、
前記布状ディスクの第2の面は前記プラスチックディスクの環状のリムに接着され、
前記布状ディスクの第1の面は前記発泡体ディスクに接着されている請求項10に記載の取付用ディスク。

【請求項12】

前記取付用環状部は、実質上前記布状ディスクの直径を越えて延びることがないように設けられている請求項11に記載の取付用ディスク。

【請求項13】

前記第1の接着性スキンバリアディスクの第1の面と前記第2の接着性スキンバリアディスクの第1の面とを覆う剥離可能な保護フィルムを備えている請求項9に記載の取付用ディスク。

【請求項14】

オストミーパウチ用の取付用ディスクであって、
中央に開口部を有する凸状の中央本体部分と該本体部分を取り囲む環状のリムとを有する可撓性プラスチックディスクと、

第1及び第2の面を有して該第1及び第2の面のそれぞれに感圧性接着剤が施され、かつ前記可撓性プラスチックディスクの外径にほぼ一致する外径を有して、前記第2の面が前記プラスチックディスクの中央本体部分と環状のリムとに接着され、前記プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えた第1の発泡体ディスクと、

第1及び第2の面を有して該第1の面に感圧性接着剤が施され、かつ前記可撓性プラスチックディスクの外径より大きい外径を有して、第2の面が前記第1の発泡体ディスクの第1の面に接着され、前記プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えた第2の発泡体ディスクと、

前記第2の発泡体ディスクの外径とほぼ一致する外径を有して前記第2の発泡体ディスクの第1の面に接着され、接着性を有していて、前記プラスチックディスクの前記開口部の内径よりも小さい最小径を有する開口部を中央に有して、該開口部の直径が前記最小径から前記プラスチックディスクの開口部の内径にほぼ一致する内径まで拡大され得るスキンバリアディスクと、

を備えてなるオストミーパウチ用取付用ディスク。

【請求項15】

前記可撓性プラスチックディスクの外周に、径方向に相対し放射方向に突出した取付用環状部を備えている請求項14に記載の取付用ディスク。

【請求項16】

前記取付用環状部は前記スキンバリアディスクと第2の発泡体ディスクの直径を越えて延びることがないように設けられている請求項15に記載の取付用ディスク。

【請求項17】

前記接着性スキンバリアディスクはエラストマー物質とハイドロコロイド材料との混合物からなっている請求項14に記載の取付用ディスク。

【請求項18】

前記接着性スキンバリアディスクの他の面を覆う剥離可能な保護フィルムを備えている請求項14に記載の取付用ディスク。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、オストミー装置組立体に関し、更に特定すると、オストミーパウチの取付用ディスクに関するものである。

【背景技術】

【0002】

本発明は、係属中の出願（米国特許出願09/758,726）に係わるオストミー装置組立体の改良である。

【0003】

オストミー装置組立体は、通常、取付用フェースプレートを備えていて、該フェースプレートが凸状ディスクとオストミーパウチ〔ostomy pouch、人工肛門、人工膀胱などのストーマ（人工瘻）に取り付ける袋〕との間に介在させられる。

20

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明は、不規則な形を有するストーマにフィットするように伸縮可能な可撓性スキンバリアディスクを備えたオストミーパウチ用取付用ディスクを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明によれば、不規則な形を有するストーマにフィットするように伸縮が可能な可撓性スキンバリアディスクが提供される。本発明の一態様によると、オストミー装置は、取付用ディスクと、ストーマ受け入れ口を有するオストミーパウチとを備えている。本発明に係わる取付用ディスクは、ストーマ受け入れ口の周囲にシール（seal）されていて、中央に開口部を有する凸状の中央本体部分と該本体部分を取り囲む環状のリムとを有する可撓性プラスチックディスクを備えている。また第1及び第2の面を有し、該第1及び第2の面のそれぞれに感圧性の接着剤が施された発泡体ディスクが設けられて、この発泡体ディスクの第2の面がプラスチックディスクの中央本体部分と環状のリムとに接着されている。発泡体ディスクは、プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えている。また第1及び第2の面を有し、内径及び外径がそれぞれ発泡体ディスクの内径及び外径とほぼ一致している第1のスキンバリアディスクが設けられ、この第1のスキンバリアディスクの第2の面が発泡体ディスクの第1の面に接着されている。また第2のスキンバリアディスクが第1のスキンバリアディスクの第1の面に接着されている。第2のスキンバリアディスクは、可撓性を有し、伸縮可能であって、プラスチックディスクの開口部の内径よりも小さい最小径を有する開口部を中央に有し、該開口部の直径が前記最小径からプラスチックディスクの開口部の内径にほぼ一致する最大径まで拡大され得ようになっている。

30

40

【0006】

本発明の他の態様によると、オストミー装置が、取付用ディスクとストーマ受け口を有するオストミーパウチとを備えている。本発明に係わる取付用ディスクは、ストーマ受け口の周囲にシールされていて、中央に開口部を有する凸状の中央本体部分と該本体部分を

50

取り囲む環状のリムを有する可撓性プラスチックディスクを備えている。また第 1 及び第 2 の面を有して該第 1 及び第 2 の面のそれぞれに感圧性接着剤が施された第 1 の発泡体ディスクが設けられて、この第 1 の発泡体ディスクの第 2 の面がプラスチックディスクの中央本体部分と環状のリムとに接着されている。第 1 の発泡体ディスクは、可撓性プラスチックディスクの外径にほぼ一致する外径を有し、プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えている。更に、第 1 及び第 2 の面を有して該第 1 の面に感圧性接着剤が施され、かつ可撓性プラスチックディスクの外径より大きい外径を有する第 2 の発泡体ディスクが設けられて、この第 2 の発泡体ディスクの第 2 の面が第 1 の発泡体ディスクの第 1 の面に接着されている。第 2 の発泡体ディスクは、プラスチックディスクの開口部の内径に一致する内径を有する開口部を中央に備えている。また接着性を有するスキンバリアディスクが第 2 の発泡体ディスクに接着されている。このスキンバリアディスクは、第 2 の発泡体ディスクの外径とほぼ一致する外径を有して第 2 の発泡体ディスクの第 1 の面に接着されている。スキンバリアディスクは伸縮可能であって、プラスチックディスクの開口部の内径よりも小さい最小径を有する開口部を中央に有し、該開口部の直径が前記最小径からプラスチックディスクの開口部の内径にほぼ一致する最大径まで拡大され得るようになっている。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

図 1 及び図 2 を参照すると、本発明に係わるオストミー装置組立体 10 が図示されている。組立体 10 は取付用ディスク 12 と、オストミーパウチ 14 とを備えている。

20

【0008】

取付用ディスク 12 は、凸状の中央本体部分 18 と、該本体部分を取り囲む環状のリム 20 とを有する可撓性プラスチックディスク 16 を備えている。このディスク 16 は、その外周部に径方向に相対し放射方向に突出した締め付けベルト（図示せず）取付用の環状部（loop）22 を備えている。

【0009】

布状の多孔性材料ディスク 24 が可撓性プラスチックディスク 16 を被覆している。この布状ディスクは、一方の面に接着剤層 26 を有し、該布状ディスクの他の面は、プラスチックディスク 16 の環状のリム 20 に接着されている。布状ディスク 24 は、プラスチックディスク 16 に取り付けられる際に、プラスチックディスク 16 の凸状の中央本体部分 18 の外径とほぼ同じ内径を有している。布状ディスク 24 はプラスチックディスク 16 の外径よりも大きな外径を有しており、取付用環状部 22 に通されたベルトのフック（図示せず）からオストメイト[ostomate、ストーマを有する人]の皮膚を保護するため、取付用環状部 22 の上を越えて延びている。即ち、取付用環状部 22 が実質上布状ディスク 24 の直径を越えて延びることがないようになっている。布状ディスク 24 の露出面は、使用の直前に除去される薄い剥離紙（保護ペーパー）28 で覆っておくのが好ましい。

30

【0010】

布状ディスク 24 は、柔軟性と弾力性と熱可塑性とを有する発泡体ディスク 30 により覆われている。この発泡体ディスク 30 は、その両面のそれぞれに感圧性接着剤層 32 及び 34 を有していて、該ディスクの一方の面は布状ディスク 24 とプラスチックディスク 16 の凸状の中央本体部分 18 とに取り付けられている。発泡体ディスク 30 は、プラスチックディスク 16 に取り付けられる際に、プラスチックディスク 16 の凸状の中央本体部分 18 の外径よりも大きい外径を有している。

40

【0011】

発泡体ディスク 30 の内径及び外径と一致する内径及び外径を有し、接着性とハイドロコロイド性とを有する第 1 のスキンバリアディスク 36 が、発泡体ディスク 30 の接着剤層 34 の上に配置されている。第 1 のスキンバリアディスク 36 の露出面は、使用の直前に除去される薄い剥離フィルム 38 で覆っておくのが好ましい。第 1 のスキンバリアディスク 36 は柔軟で、しかも乾燥状態でも濡れた状態でも接着性を有している。

【0012】

50

第1のスキンバリアディスク36上には、接着性とハイドロコロイド性とを有する第2のスキンバリアディスク40が配置されている。第2のスキンバリアディスク40の露出面は、使用の直前に除去される薄い剥離フィルム38で覆っておくのが好ましい。第2のスキンバリアディスク40は柔軟で、しかも乾燥状態でも濡れた状態でも接着性を有している。第2のスキンバリアディスク40は伸縮性を有していて、内径dを有する開口部60を備えており、この開口部の内径dは、ほぼ1/2インチ(1.27cm)の最小径からプラスチックディスク16の内径にほぼ一致するほぼ2インチ(5.08cm)の最大径Dまで拡大され得るようになっている。図2に図示されているように、取付用ディスク12の中央にストーマの入口60が設けられている。

【0013】

10

開口部60の直径は、ほぼ1/2インチとほぼ2インチとの間の如何なる大きさにも伸縮可能であって、この伸縮可能範囲内であればどのような不規則な形状にも伸縮可能である。使用者は、開口部をハサミで切断することなく使用者のストーマのサイズ及び(または)形状に適合させるように開口部60を伸縮させることができる。

【0014】

オストミーパウチ14は、身体に近い側に配置される壁部56を構成するプラスチックフィルムシート54と、身体から遠い側に配置される壁部66を構成するプラスチックシートとを備えていて、身体に近い側に配置されるプラスチックフィルムシート及び身体から遠い側に配置されるプラスチックフィルムシートはそれぞれの外周部でシールされている。身体に近い側に配置されるシート54は、可撓性プラスチックディスク16の環状のリム20の内径にほぼ一致する直径を有するストーマ受け入れ口62を有している。環状のリム20は、ストーマ受け入れ口62を取り囲む領域の回りでシート54にシールされている。装着者を快適にするため、図1に示されているように、身体に近い側に配置されるシート54を布状の多孔性材料58により被覆することもできる。

20

【0015】

図3を参照すると、本発明の他の実施形態に係わるオストミー装置組立体が図示されている。この組立体は、オストメートの締め付けベルト(図示せず)に取り付けられる取付ディスク120と、オストミーパウチ(図3には図示せず。)とを備えている。

【0016】

取付用ディスク120は、凸状の中央本体部分180と、該本体部分を取り囲む環状のリム200とを有する可撓性プラスチックディスク160を備えている。このディスク160は、その外周部に径方向に相対し、放射方向に延びるベルト取付用の環状部(loop)220を備えている。

30

【0017】

可撓性プラスチックディスク160は、柔軟性と弾力性と熱可塑性とを有する第1の発泡体ディスク240により覆われている。発泡体ディスク240は、そのそれぞれの面に感圧性接着剤層260及び280を有していて、該ディスクの一方の面がプラスチックディスク160に取り付けられている。発泡体ディスク240は、プラスチックディスク160に取り付けられる際に、プラスチックディスク160の外径にほぼ一致する外径を有している。

40

【0018】

第1の発泡体ディスク240は、柔軟性と弾力性と熱可塑性とを有する第2の発泡体ディスク300により覆われている。この発泡体ディスク300は一方の面に感圧性接着剤層320を有し、該感圧性接着剤層を露出させるように、該発泡体ディスク300の他方の面が第1の発泡体ディスク240の接着剤層280に接着されている。発泡体ディスク300は第1の発泡体ディスク240及びプラスチックディスク160の外径よりも大きな外径を有している。取付用環状部220に通されたベルトのフックからオストメートの皮膚を保護するため、取付用環状部220が第2の発泡体ディスク300の直径を超えて伸びることがないようにしている。

【0019】

50

第2の発泡体ディスク300の接着剤層320の上には、該第2の発泡体ディスク300の外径と一致する外径を有し、接着性とハイドロコロイド性を有するスキンバリアディスク340が配置されている。スキンバリアディスク340の露出面は、使用の直前に除去される薄い剥離フィルム400で覆っておくのが好ましい。上記ディスク(複数)をシールし、プラスチックディスク160の凸状の中央本体部分180を覆っている発泡体ディスクとハイドロコロイドディスクのしわをなくして滑らかにするために、環状領域Zに熱と圧力とが加えられる。

【0020】

接着性を有するスキンバリアディスク340は柔軟で、しかも乾燥状態でも濡れた状態でも接着性を有する。この好ましい材料は、カラヤ-グリセリン配合物(Karaya-glycerine formulations)またはポリアクリルアミド樹脂(polyacrylamide resins)と他のポリオール(polyols)との混合物、及びエラストマー物質とハイドロコロイド材料の混合物である。組立体の中央部にストーマの受け入れ口380が設けられている。

10

【0021】

スキンバリアディスク340の露出面は、使用の直前に除去される薄い剥離フィルム400で覆っておくのが好ましい。

【0022】

スキンバリアディスク340は伸縮性を有していて、該スキンバリアディスク340に設けられた開口部(ストーマの受け入れ口)の内径dは、ほぼ1/2インチ(1.27cm)の最小径からプラスチックディスク160の内径にほぼ一致するほぼ2インチ(5.08cm)の最大内径Dまで拡大され得るようになっている。

20

【0023】

開口部380の内径は、ほぼ1/2インチとほぼ2インチとの間の任意の大きさに伸縮可能であり、この伸縮可能範囲内であればどのような不規則な形状にも伸縮可能である。本実施形態によれば、使用者は、開口部380をハサミでカットすることなく使用者のストーマのサイズ及び(または)形状に適合させるように開口部380を伸縮させることができる。

【0024】

本発明の特定の実施形態に関して、本発明を図示し、説明したが、本発明の趣旨から逸脱することなく、これらの実施形態に種々の変更を施したり、各実施形態の構成要素を同等のもので置き換えたりすることができる。更に、本発明の基本的な趣旨から逸脱することなく、特定の状況や特定の材料を本発明による教示に適合させるために、他の修正を加えることもできる。したがって、本発明は、添付された請求の範囲により限定される点を除き、その範囲においても効力においてもここに記載された特定の実施形態に限定されるものではなく、また他のいかなる点に関しても本発明によりもたらされた技術の進歩の範囲と矛盾するものではない。

30

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】本発明の一実施形態に係わるオストミー装置の身体に近い側から見た正面図である。

40

【図2】図1の2-2線断面図である。

【図3】本発明の他の実施形態に係わるオストミー装置を示す図2と同様の断面図である。

。

フロントページの続き

(56)参考文献 特開平01-164374(JP,A)
特表平09-509864(JP,A)
特開平3-99659(JP,A)
特開平3-99660(JP,A)
特表平6-510212(JP,A)
特開2004-130083(JP,A)
特開昭63-150067(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A61F	5/448
A61F	5/445